

令和元年度 安全パトロール 実施結果報告

公益財団法人 横浜市建築保全公社 技術管理課



令和元年度 安全パトロール件数

- ・令和元年

7月	3件
----	----

8月	13件
----	-----

9月	3件
----	----

11月	2件
-----	----

- ・令和2年

1月	1件
----	----

計	22件
---	-----

令和元年度のパトロール重点目標

- 仮設物の安全対策
(足場等の転落落下防止措置、崩壊防止措置、
仮設電気設備)
- 安全な作業空間の確保
(作業場の整理整頓、通路の安全確保)
- 効果的な安全管理
(リスクアセスメント及びK Y T活動励行、
掲示物及び施工体制の確認)
- 周辺地域の第三者への配慮

M小学校サッシ改修その他工事



○注意すべき点

- ▶ 開口部の施錠
- ▶ 昇降用足場



○指摘事項

- ▶ 足場施工前に足場組立図を作成し
担当監督員と事前に協議して下さい



施錠OK

○注意すべき点

- ▶ 足場の確実な固定
- ▶ 作業者や物を落下させない



壁つなぎ水平
8 m以下OK



○指摘事項（足場設置基準を確認）

- ▶ 枠組足場の壁つなぎは、垂直方向 9 m 以下、水平方向 8 m 以下
- ▶ 墜落防止装置の高さは 5 m 以上から、高さ 2 m 以上の構造足場まで拡大
- ▶ 二段手摺り設置、幅木、作業床の幅 40 cm 以上



二段手摺り、
幅木OK

（安衛則：第 5 6 4 条）

T 消防出張所外壁改修その他工事

根がらみ、
ジャッキ
ベースOK



○注意すべき点

- ▶ 足場の確実な固定
- ▶ 作業者や物を落下させない

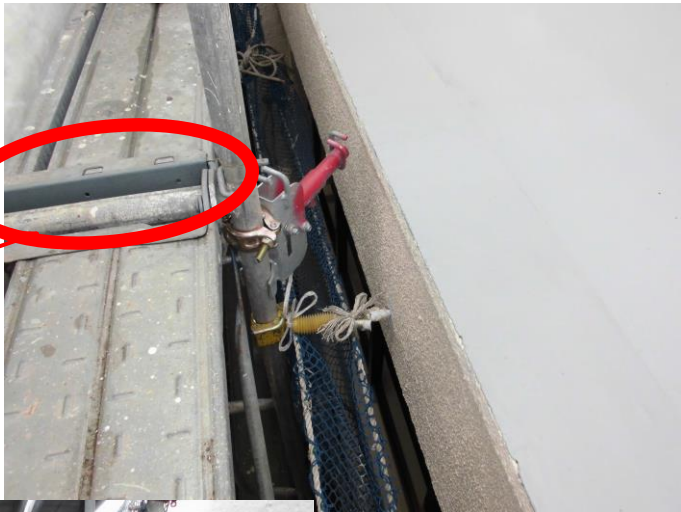


○指示事項

- ▶ 根がらみを短辺及び長辺方向にまた、ジャッキ型ベース金具の高さ350mm以下で使用
- ▶ 二段手摺り設置、幅木や足場周囲の防災ネットはI類を設置

防災ネット
I類OK





段差有り×

○注意すべき点

- ▶ 昇降場所はずまずき及び転倒



○指摘事項

- ▶ 作業床の段差に注意喚起表示
- ▶ 床材の隙間 3 cm以下とする
建地の隙間は 1 2 cm未満とする



3 cm以上×

K 中学校屋内運動場屋根改修その他工事



電線養生
なし×



根がらみ
長辺なし×



○注意すべき点

- ▶ 足場の固定
- ▶ 足場通路障害物



○指摘事項

- ▶ 根がらみ短辺・長辺方向に設置
- ▶ 電線の注意喚起・養生設置



幅木なし×

○注意すべき点

- ▶ 屋根への昇降中に落下
- ▶ 脚立足場床板の落下



○指摘事項

- ▶ 幅木設置
- ▶ 床板のはね出し10cm以上20cm以下、
ゴムバンド結束

はね出し
10cm以下、
結束なし×

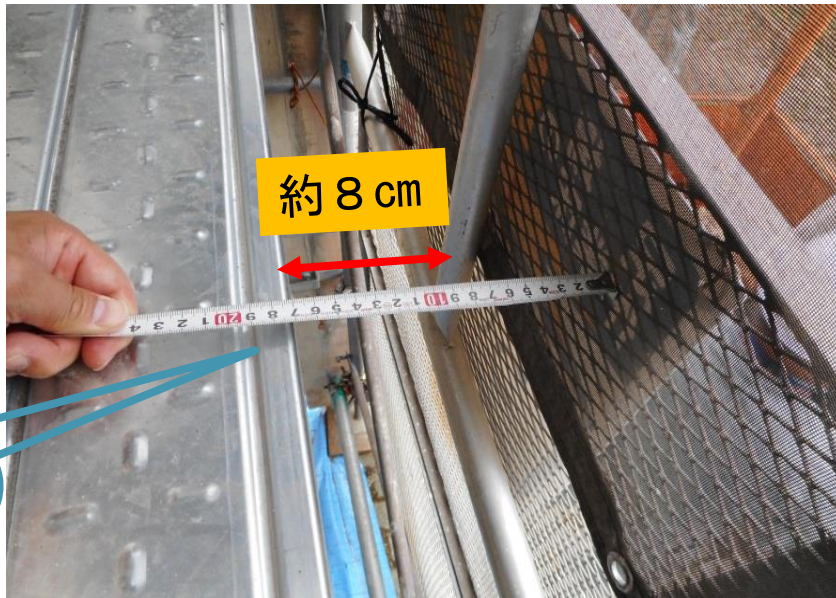


足場設置の注意点



- ▶ 通路、作業床の上には基本何も置かない

資材放置×



12cm以内
OK

- ▶ 床材と建地との隙間は12cm未満とする

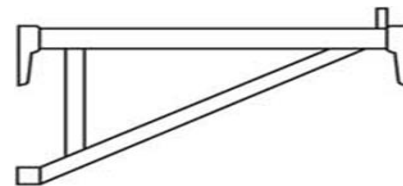
◆ 安衛則：（第563条）

専用ブラ
ケットOK



- ▶ 小幡ネットを設置する際は、壁つなぎや配管等の支持金物からは取らないこと

専用ブラケットにて設置



3 cm以上 ×

- ▶ 作業床の隙間が3 cm以下とする
◆ 安衛則：（第563条）

移動式足場の注意点



各掲示物、
昇降路OK

- ▶ 掲示物表示は移動足場本体に設置
- ▶ 昇降階段、二段手すり、幅木等がない
また、空間も多いと危険です
- ▶ 転倒防止のため同一面より2名以上で同時に昇降しない



昇降路、
幅木なし×

工事看板の注意点



技術者台帳
掲示の必要は
ありません×

- ▶ 工事看板掲示物には、技術者台帳は掲示せずに手持ちのファイル内に収め携帯する

- ▶ 施工体制台帳も同様に掲示しない

施工体制台帳
掲示の必要は
ありません×



- ▶ 工事看板掲示標識類は公衆の見やすい場所、工事現場の見やすい場所へ掲示

工事名	〇〇〇小学校普通教室改修工事(建築・電気・機械)
工事期間	平成30年5月1日～平成30年8月31日
工事場所	横浜市〇〇区△△町123番地
依頼者	(例)横浜市教育委員会 施設部 教育施設課
発注者 工事監理	(公財)横浜市建築保全公社
請負人	(株)〇〇〇〇建設 または 〇〇〇〇〇協同組合 現場代理人氏名 保全太郎 連絡先(電話) 045-123-4567

▶ 工事看板の依頼者は、原局名
発注者・工事監理は保全公社です

施工体系図(作成例)

発注者名		工期	自 年 月 日	
工事名称			至 年 月 日	

近 路 名	
施 工 区 画	
理 技 術 者 名	
主 任 技 術 者 名	
専 門 技 術 者 名	
担 当 工 事 内 容	
専 門 技 術 者 名	
担 当 工 事 内 容	

会 長	統括安全衛生責任者
副 会 長	

会 社 名	
安全衛生責任者	
主任技術者	
専門技術者	
工事	現場工事 内 容
工期	年 月 日 ～ 年 月 日

会 社 名	
安全衛生責任者	
主任技術者	
専門技術者	
工事	現場工事 内 容
工期	年 月 日 ～ 年 月 日

会 社 名	
安全衛生責任者	
主任技術者	
専門技術者	
工事	現場工事 内 容
工期	年 月 日 ～ 年 月 日

会 社 名	
安全衛生責任者	
主任技術者	
専門技術者	
工事	現場工事 内 容
工期	年 月 日 ～ 年 月 日

会 社 名	
安全衛生責任者	
主任技術者	
専門技術者	
工事	現場工事 内 容
工期	年 月 日 ～ 年 月 日

▶ 施工体系図には警備会社も記載して
下さい
(国交省・横浜市に準ずる)

仮囲いについて



- ▶ 風等による倒壊防止のため
仮囲いの控えをとり、結束
する



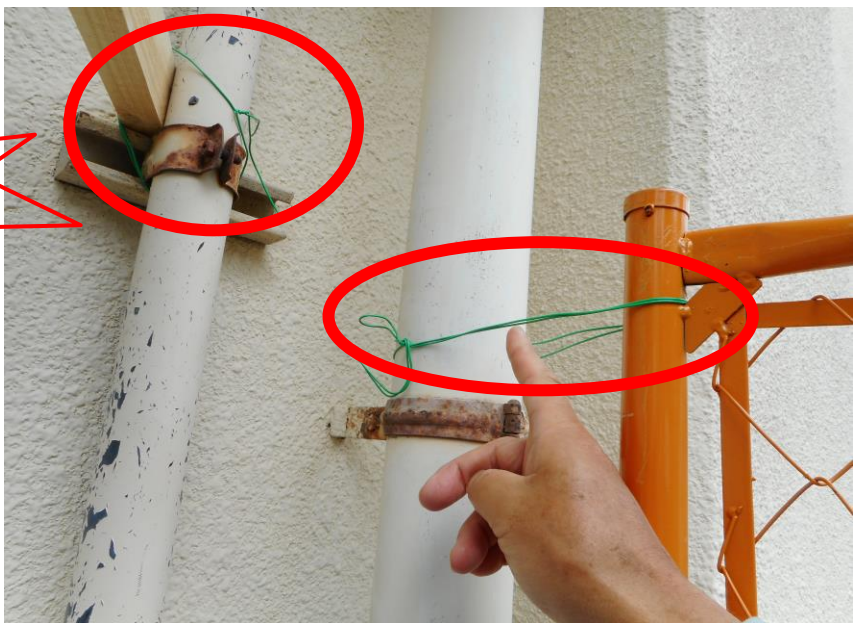
- ▶ 外部からの侵入防止のため
開口部の施錠を行う

控え、施錠
OK



- ▶ 既設物を傷つけずに、単管パイプ等を打ち込み固定する

既設物に支持、
ひも使用×



- ▶ 結束には被覆針金等で確実に固定する

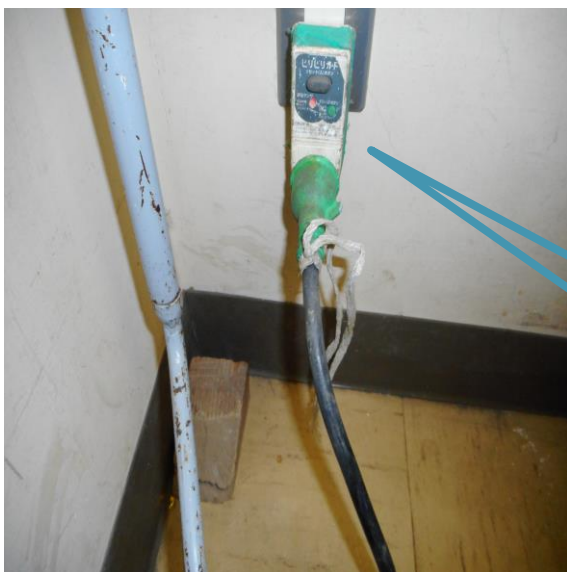
仮設電源・電動工具について



屋外用電エ
ドラムOK



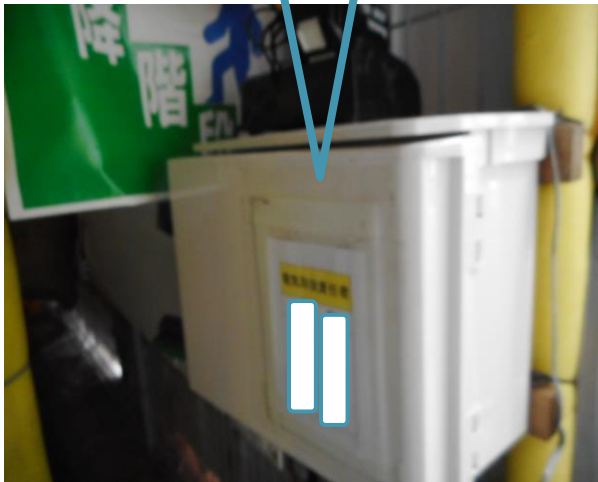
コードを全て
出すOK



漏電ブレー
カーOK

- ▶ 電エドラム使用時は漏電ブレーカーを使用、アースをとる
- ▶ ケーブルは全て出して使用する
- ▶ 屋外で屋内用ドラムを使用しない

責任者表示
(正・副) OK



点検表 OK



- ▶ 仮設分電盤設置時は、取扱責任者（正・副）の表示を行う
- ▶ その日の使用前に点検し点検表に記録し管理する
- ▶ 遮断器の行き先表示を行う
- ▶ 仮設電源設置は電気工事士に依頼しましょう

行き先
表示 OK





- ▶ 電動工具でELCB付遮断器等は施設の回路保護のためのものです。感電事故防止のため接地（アース）は必ず取りましょう
- ▶ 二重絶縁マーク  を表示した製品は、二重絶縁構造ですので接地（アース）を取る必要はありません
- ▶ ウィンチは使用後は、巻上げておくこと
- ▶ 電気配線はつまずき防止のため、必要に応じて養生する

◆電動工具持込点検記録表・持込機械届出受領証

電動工具及び溶接機等を持込をする際は、必要事項を記入したら
機器本体にステッカーを工具類へ貼り付け管理する

持込機械等		（電動工具） （電気溶接機）		等 使用届	
事業所の名称		所 長 名		一次会社名	
				持込会社名	
				代表者名	
				電 話	
このたび、下記機械等を右の点検表により、点検整備のうえ持込・使用しますので、 お届けします。なお、使用に際しては、関係法令に定められた事項を遵守します。					
記					
番号	機 械 名	規格性能	管理番号 受理番号	持込年月日	点検者 取扱者
1				年 月 日	
2				年 月 日	
3				年 月 日	
4				年 月 日	
5				年 月 日	
6				年 月 日	
7				年 月 日	
8				年 月 日	
機械等の特性・その他		その使用上注意すべき事項			
元 請 確 認 欄			受 理 証 確 認 者		
担当者			年 月 日		

持込時の点検表		点検 平成 年 月 日	
電動工具・電機溶接機等			
点検事項	1 2 3 4 5 6 7 8 9 10	機 械 名	
アース線		1 電動カンナ	
設置クランプ		2 電動ドリル	
キャップタイヤ		3 電動まるのこ	
コネクタ		4 グライダ等	
接続端子の締結		5 アーク溶接機	
充電部の絶縁		6 ウインチ	
自動電撃防止装置		7 発動機	
絶縁ホルダー		8 トランス	
溶接保護面		9 コンプレッサー	
操作スイッチ		10 送風機	
絶縁抵抗測定値		11 ポンプ類	
各種ブレーキの作動		12 ミキサー類	
手すり・囲い		13 コンベアー	
フックのはずれ止め		14 吹付機	
ワイヤロープ・チェーン		15 ばりクマシ	
滑車		16 振動コンクリート	
回転部の囲い表		17 ベイブレーター	
危険表示		18 鉄筋加工機	
その他		19 電動チェーンソー	
オイル漏れ		20 その他	

(注) 1. 持込機械等の届出は、当該機械を持込む会社（貸与を受けた会社が下請の場合はその会社）の代表者が所長に届け出ること。
2. 点検表の点検結果欄には、該当する箇所へV印を記入すること。
3. 絶縁抵抗測定値については、実測値（MΩ）を記入すること。
4. 持込機械届受理証を持込機械に貼付すること。

◆参考：（持込機械届出済証）



熱中症対策について

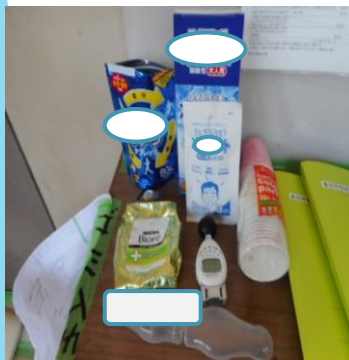


空調服

飲み物、扇風機

WBGT測定器
塩タブ

応急キット



- ▶ 朝礼やKY活動で作業者の健康状態を確認する
- ▶ 日当たりの少ない場所等で休憩をし、こまめに水分補給をする
- ▶ 現場でWBGT測定器を設置
- ▶ 血圧計・スポーツ飲料・仮設クーラー、扇風機・応急キット等を装備しましょう
- ▶ 測定値が基準値より高い場合、作業内容を変更したりして作業計画を工夫してください

令和２年度 重点目標として

1. 仮設物の安全対策

（足場等の**転落・落下防止措置**、崩壊防止措置、仮設電気設備）

2. 安全な作業空間の確保（作業場の整理整頓、通路の安全確保）

3. 効果的な安全管理（リスクアセスメント及びK Y T活動励行、

掲示物及び施工体制の確認）

4. 周辺地域の第三者への配慮

- ✓ 総合足場計画、足場組立図の作成

- ✓ 足場の組み立て、解体、変更は、足場の組み立て等作業主任者による
足場の点検作業は、始業前、警報が出た強風、大雨、大雪等の前後に
点検を実施し危険の防止に努める

- ✓ 仮囲いの点検と控え、結束の確認

- ✓ クレーン車両使用時のアウトリガーの確認及び誘導員の配置

- ✓ 車両の配置と利用者の動線に配慮